

# 2020年度事業報告

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団

# [2020年度事業報告]

(2020年4月1日～2021年3月31日)

## 1 人材育成事業

「知の交流拠点」機能を発揮し、ライフサイエンスの発展を担う研究人材を育成するため、研究交流を通じた人材育成事業を実施した。

[新型コロナウイルス対応及び遠方地、多数の方々が参加しやすいように、各事業とも講師の許可を得た上で財団ウェブサイトから動画配信を実施した。]

### (1) 千里ライフサイエンスセミナー

ライフサイエンスを先導する第一線の研究者が先端的な研究成果・動向等を発表・紹介するトップクラスのセミナーを開催した。

「詳細：別表1」

セミナーNo・開催日	テーマ	コーディネーター	講師	参加者
P1 2020年 5月28日(木) (新型コロナウイルスの為延期)	未定	大阪大学共創機構 特任教授 坂田恒昭	7名	—
P2 2020年 7月21日(火) (新型コロナウイルスの為延期)	精神・神経疾患病態解明を切り開く新しい脳機能研究	名古屋大学大学院医学研究科 分子細胞学 教授 和氣 弘明 理化学研究所 脳神経科学研究センター 多階層精神疾患研究チーム チームリーダー 林(高木) 朗子	6名	—
P3 2020年 9月15日(火) (新型コロナウイルスの為延期)	獲得免疫と自然免疫の双方から捉える新しいアレルギー学	大阪大学大学院 医学系研究科 教授 茂呂 和世 京都大学大学院 医学研究科 教授 椛島 健治	6名	—
P4 2020年 11月10日(火) Web開催	ゲノム編集がもたらす革新と更なる展望	広島大学大学院統合生命科学研究科 島大学ゲノム編集イノベーションセンター 教授/センター長 山本 卓 京都大学 ウイルス・再生医科学研究 所 幹細胞遺伝学分野 教授 遊佐 宏介	6名	339名

P5 2021年 2月3日(水) Web開催	細胞死研究の新展開	大阪大学免疫学フロンティア研究センター 特任教授 長田 重一 東京大学大学院薬学系研究科 教授 三浦 正幸	6名	278名
参加者合計 617名/2回				

※参加者数は最大アクセス回数

## (2) 新適塾

ライフサイエンス各分野の先端的な3つのテーマについて、第一線の研究者と若手研究者等が自由闊達に議論できる場を提供し、研究人材の成長を支援した。適塾の向上心、闊達性の再現を目指した事業名称である。

### ① 未来創薬への誘い

コーディネーター：大阪大学大学院薬学研究科 小比賀 聡  
大阪大学大学院薬学研究科 水口 裕之

開催 No・開催日	演題	講師	参加者
1 第50回 2020年 4月23日(木) (新型コロナウイルスの為延期)	胃癌克服の鍵:腹膜播種の分子生物学的機構と治療開発	名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学 講師 神田 光郎	—
2 2020年 7月 (新型コロナウイルスの為延期)	未定	未定	—
3 第51回 2020年 10月16日(金) Web開催	胃癌克服の鍵:腹膜播種の分子生物学的機構と治療開発	名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学 講師 神田 光郎	142名
4 第52回 2021年 1月28日(木) Web開催	何でもできる AAV:AAV ベクターの 現状、限らない魅力と 未来	オレゴン健康科学大学医学部 分子遺伝医学 特別終身教授 中井 浩之	263名
参加者合計 405名/2回			

② 脳はおもしろい

コーディネーター：大阪大学大学院生命機能研究科 山本 亘彦  
大阪大学 蛋白質研究所 古川 貴久

開催 No・開催日	演題	講師	参加者
1 2020年 6月12日(金) (新型コロナウイルスの為延期)	未定	未定	—
2 第30回 2020年 9月28日(月) Web開催	モデル動物と非モデル動物との対比による 栄養バランスへの適応機構の解析	京都大学 大学院生命科学研究科 細胞認識学 教授 上村 匡	95名
3 第31回 2021年 1月7日(木) Web開催	哺乳類の脳の巨大化・複雑化と脆さ： 私達が進化の過程で得たもの	理化学研究所 生命機能科学研究センター 非対称細胞分裂研究チーム チームリーダー 松崎 文雄	138名
4 第32回 2021年 2月26日(金) Web開催	感覚情報に基づく情動・行動の出力判断： 嗅覚系における神経回路形成とdecision making	福井大学 学術研究院医学系部門 医学領域 特命教授 坂野 仁	149名
参加者合計 382名/3回			

③ 難病への挑戦

コーディネーター：大阪大学大学院医学系研究科 山下 俊英  
大阪大学大学院医学系研究科 菊池 章

開催 No・開催日	演題	講師	参加者
1 第42回 2020年 5月13日(水) (新型コロナウイルスの為延期)	病原性Th2細胞による慢性難治性 気道炎症の病態形成と制御	千葉大学大学院医学研究院 免疫発生学 教授 中山 俊憲	—
2 第43回 2020年 9月9日(水) Web開催	病原性Th2細胞による慢性難治性 気道炎症の病態形成と制御	千葉大学大学院医学研究院 免疫発生学 教授 中山 俊憲	126名
3 第44回 2020年 11月20日(木) Web開催	NRF2依存性がんの悪性化機構と 治療戦略	東北大学加齢医学研究所 加齢制御研究部門 遺伝子発現制御分野 教授 本橋ほづみ	83名
4 第45回 2021年 2月15日(月) Web開催	脊髄再生研究の現状と課題	大阪大学大学院医学系研究科 整形外科 教授 岡田 誠司	195名
参加者合計 404名/3回			

### (3) 「大阪科学賞」の共催

創造的科学技术の振興を図り、21世紀の新たな発展と明日の人類社会に貢献することを目的として、「大阪科学賞」により、将来性が期待される研究人材を顕彰した。

「主催」大阪府・大阪市・(一財)大阪科学技術センター

「共催」公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団

- |        |  |
|--------|--|
| ① 対象分野 | 理学、工学、農学、生物学、医学、薬学、情報科学とそれらの学際<br>的分野における科学および新技術の発展に寄与した研究・開発                             |
| ② 対象者  | 学術上顕著な業績を上げた方、画期的な新技術を開発した方、<br>研究のさらなる発展と研究者としての将来性が期待される方。<br>1970年1月1日以降に出生された方。(50歳以下) |
| ③ 授賞   | 2件(賞金各150万円、賞状・記念品(盾)を贈呈)  |

・第38回(2020年度)「大阪科学賞」表彰式・記念講演

2020年11月28日(土)(於;大阪科学技術センター)

・受賞者

石井 優(いしい まさる)氏

【現職】大阪大学大学院生命機能研究科 教授

【業績】生体イメージングの技術開発と免疫細胞ダイナミクスの統合的解明

井垣 達吏(いがき たつし)氏

【現職】京都大学大学院生命科学研究科 教授

【業績】細胞競合によるがん細胞制御の発見とその分子機構の解明

## 2 岸本基金研究助成事業

独創性、先行性があり、ライフサイエンスの振興に寄与することが期待できる若手研究者の研究テーマに対し、「岸本基金研究助成事業」として助成した。

### (1) 募集・応募概要

助成額	募集件数	募集方法・期間	応募件数
200万円/件	15件程度	申請者の所属機関長等の推薦 2020年6月1日(月)～7月31日(金)	181件

(2) 選考委員会 2020年11月26日(木)

(3) 選考結果 研究助成15件 助成額3,000万円(200万円×15件) 採択率8.3%

(4) 贈呈式 ・開催日:2021年1月19日(火)

・開催形式:WEB開催

・受領者は次表のとおり

(敬称略、50音順)

氏名	所属・役職	研究題目
あべ たくや 阿部 拓也	東京都立大学大学院理学研究科 化学専攻 生物化学教室 助教	ヒトがY染色体を失う原因、及びその影響解の解明
おおしま けんじ 大島 健司	大阪大学院医学系研究科 病態病理学講座 助教	がんの脳転移巣形成におけるD-セリン代謝酵素の機能解明
かやま ひさこ 香山 尚子	大阪大学院医学系研究科 免疫制御学教室 准教授	脱ユビキチン化酵素によるストローマ細胞の活性制御を介した腸管恒常性維持機構の解明
かわい たかふみ 河合 喬文	大阪大学院医学系研究科 統合生理学教室 助教	精子に存在するユニークな膜電位感知機構の解明
かわべ たけし 河部 剛史	東北大学大学院医学系研究科 病理病態学講座免疫学分野 助教	新たな自然免疫型T細胞の同定とその機能解析
きた あいこ 佐田 亜衣子	熊本大学国際先端医学研究機構 皮膚再生・老化学講座 特任准教授	表皮幹細胞老化に伴うグライコームシフト:生物学的意義と分子基盤の解明

たかおかかつよし 高岡 勝吉	徳島大学先端酵素学研究所 発生生物学分野 准教授	哺乳類胚の休眠における Lefty の役割
たかやま かずお 高山 和雄	国立大学法人京都大学 iPS 細胞研 究所 増殖分化機構研究部門 高山研究 室 講師	ヒト肺チップの開発と COVID-19 研究 への応用
とがし ようすけ 富樫 庸介	千葉県がんセンター研究所 細胞治療開発研究部 部長代理	腫瘍微小環境の「疲弊」CD4 陽性 T 細 胞の本態解明
ながおか そう 長岡 創	奈良県立医科大学 発生・再生医学講座 助教	マウス卵母細胞機能を規定する転写抑 制ネットワークの構築機序とその破綻 機構の解明
ふかや たかし 深谷 雄志	東京大学定量生命科学研究所 生命動態研究センター遺伝子発 現ダイナミクス研究分野 講師	エンハンサー・プロモーター相互作用の 多色ライブイメージング解析
まつい たかひろ 松井 崇浩	大阪大学院医学系研究科 病態病理学講座 助教	“光による組織診断”を活用した腫瘍 細胞の動態解析とがん進展メカニズム の解明
まつもと しんじ 松本 真司	大阪大学院医学系研究科 分子病態生化学 助教	新規小児がん遺伝子 GREB1 による神経 芽腫発症機序の解明と治療薬開発
やました せいすけ 山下 征輔	東京大学大学院新領域創成科学研 究科 メディカル情報生命専攻 RNA 生 物学分野 助教	ヒト TUT1 による RNA ポリウリジル化 の分子構造基盤
やまむろ かずひこ 山室 和彦	奈良県立医科大学 精神医学講座 助教	発達脳の可塑性と社会性および恐怖記 憶の神経基盤の解明

### 3 普及啓発事業

一般市民や児童・生徒に、学び、研究者等と交流する機会を提供するとともに、ライフサイエンスに関する知識・情報や、当財団の使命、役割等を普及啓発するため、各種事業を実施した。

#### (1) 千里ライフサイエンスフォーラム

一般市民を対象に、幅広く教養の向上と交流を図るため、各分野の第一線で活躍される方々を講師として、フォーラム（講話）を9月以降月例で実施した（Web開催）。

開催日	場 所	テーマ	講 師	アクセス数
(配信/収録)	(配信/収録)			(懇親会中止)
2020年 4月21日(火) 18:00～ (新型コロナウイルスの為に中止)	千里LCビル 会議室	近畿大学水産研究所の養殖への挑戦	近畿大学水産研究所 教授・所長 升間 主計	—
2020年 5月 18:00～ (新型コロナウイルスの為に中止)	千里LCビル 会議室	未定	未定	—
2020年 6月 18:00～ (新型コロナウイルスの為に中止)	千里LCビル 会議室	未定	未定	—
2020年 7月 18:00～ (新型コロナウイルスの為に中止)	千里LCビル 会議室	未定	未定	—
2020年 8月		休会月		
2020年 9月2日(水) 18:00～	千里LCビル 会議室	新型コロナウイルス流行からみえてきた、感染症と社会	大阪大学大学院医学系研究科 感染制御学 教授 朝野 和典	50 ライブ配信
2020年 10月6日(火) 18:00～	千里LCビル 会議室	新型コロナウイルスの性状とワクチン開発の現状	大阪大学微生物病研究所 教授 松浦 善治	57 ライブ配信
2020年 11月4日(水) 18:00～	千里LCビル 会議室	人獣共通感染症について: どうして発生するのか? どの様に対策するのか?	北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 教授 澤 洋文	53 ライブ配信
2020年 12月2日(水) 18:00～	千里LCビル 会議室	ポリファーマシーから見る、これからの高齢者医療	大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 教授 竹屋 泰	54 ライブ配信



2021年 1月26日(火) 16:00～	千里LCビル 会議室	スーパーコンピュータ富岳で 予測するウイルス飛沫の飛散 予測とその感染リスク低減対 策	理化学研究所 計算科学研究セ ンター チームリーダー 神戸大学大学院システム情報 学研究科 教授 坪倉 誠	84 録画配信
※1月フォーラムの内容は、飛沫感染対策の普及啓発のため、3月11日(木)～5月10日(月)の2か月間、一般向けに録画配信した。アクセス数 289				
2021年 2月24日(水) 16:00～	千里LCビル 会議室	ローカル 5G の概要と、with コロナの時代に向けての進展	大阪大学大学院工学研究科 教 授三瓶 政一	63 録画配信
2021年 3月18日(木) 18:00～	千里LCビル 会議室	大阪人・関西人のコミュニケー ションの特色-「知らんけど」 の秘密-	大阪大学大学院文学研究科 文 化表現論専攻 教授 金水 敏	83 録画配信
アクセス数合計 444/7回 (※の289アクセス除く)				

## (2) 市民公開講座

一般市民を対象に、ライフサイエンスに関する身近なテーマ等について公開講座を開催した。

協力：産経新聞社 後援：大阪府

コーディネーター：国立循環器病研究センター 名誉総長 北村 惣一郎  
(一財)住友病院 院長 松澤 佑次  
大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 教授 猪阪 善隆\*

(\*：第81回のみ)

開催日	テーマ	講師	アクセス数
第81回 2020年 10月10日(土) Web配信	慢性腎臓病(CKD)に負けないぞ!	大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 教授 猪阪 善隆 大阪大学医学部附属病院栄養マネジ メント部 栄養管理室長 長井 直子 豊中市保健所 健康政策課 保健師 岸田 久世	121
第82回 2021年 3月13日(土) Web配信	高齢者に増えている心臓弁膜症 ～早期発見と最新治療～	国立循環器病研究センター 心臓血管 内科部門 心不全科 医長 神崎 秀 明 国立循環器病研究センター 心臓血管 外科部門 部門長 藤田 知之 大阪大学大学院医学系研究科 低侵襲 循環器医療学 特任教授 桜橋渡辺病院 副院長 倉谷 徹	72
アクセス数合計			193/2回

(3) 小学生、高校生向け事業

科学技術の発展を担う次世代の人材育成も含め、生命や自然科学に対する知的好奇心、向上心を醸成するため、小学生、高校生を対象に事業を計画し、このうち小学生事業及び高校生セミナー事業が新型コロナウイルスの影響で実施できず、高校生向け出前授業のみ実施した。

① 小学生（高学年）向け事業

コーディネーター：大阪大学大学院理学研究科 教授 山口 浩靖

[詳細：別表2]

開催日	開催場所	テーマ	講師	参加児童
2020年 8月13日(木) (新型コロナウイルスの為 中止)	大阪大学 豊中キャンパス 基礎工学国際棟 1F セミナー室	「回転運動を楽しもう」 「簡単リニアモーターカーを作ろう」	2名	—

② 高校生向け事業「ライフサイエンスセミナー：研究者と語ろう」

コーディネーター：大阪大学免疫学フロンティア研究センター 拠点長・教授 竹田 潔

開催日	開催場所	構成	講師	参加生徒
2020年 7月29日(水) (新型コロナウイルスの為 中止)	大阪大学免疫学フ ロンティア研究セ ンター(IFReC) 谷口記念講堂、 IFReC 研究室 IFReC との共催	<ul style="list-style-type: none"> <li>IFReC 研究所見学</li> <li>3名の講師による講演会</li> <li>高校生と講師の討論会</li> </ul>	未定	—

③ 高校生向け事業「出前授業」

コーディネーター：大阪大学免疫学フロンティア研究センター 拠点長・教授 竹田 潔

[詳細：別表3]

<学校法人大阪医科薬科大学 高槻中学校・高等学校>

開催日	演 題	講師	参加生徒
2020年 9月24日(木)	私たちの命を支える植物のこと	1名	43名
2020年 11月20日(金)	中学・高校では教えてくれない藻類の光合成の話	1名	51名

<大阪府立茨木高等学校>

開催日	演 題	講師	参加生徒
2020年 7月 (新型コロナウイルスの為 中止)	未定	未定	—

<学校法人金蘭千里学園 金蘭千里中学校・高等学校>

開催日	演 題	講師	参加生徒
2020年 12月14日(月)	iPS細胞を使って傷んだ関節軟骨を治す — 新しい治療 方法の開発	1名	172名

(4) 広報誌の発行および財団、財団事業の情報発信

① 広報誌「千里ライフサイエンス振興財団ニュース」の発行・配布

内 容：理事長対談（理事長とトップ研究者の対談）、財団主催の市民公開講座・セミナー等の取材記事、「解体新書」（ライフサイエンス関連の研究者、研究機関の紹介）、「リレートーク」（人と人との交流についてのリレー形式の随筆）、財団各種事業・イベント情報等の提供

発行回数：2回/（10月）90・91号 30周年合併号、（2月）92号

部 数：2,000部/回

形 態：A4版 24頁（10月）、20頁（2月）

主な配布先：全国の大学、研究機関・施設等、ライフサイエンス関連企業、自治体、財団の関係者、財団主催行事の参加者など

② 財団、財団事業の情報発信

ホームページを通じて、財団の事業、運営内容（事業計画、財務等）を公開、広報するとともに、セミナー、フォーラム、新適塾、市民公開講座等の動画を配信した。

## 4 研究及び実用化支援事業

- (1) 日本医療研究開発機構「橋渡し研究戦略的推進プログラム」(大阪大学受託事業)の活用  
 当該プログラムにおいて、革新的医療技術創出拠点として一層の支援強化が求められている拠点外(大阪大学以外)のシーズについて、特許出願を目指すシーズAおよび異分野融合型シーズHに係る業務を担当し、実用化に向けた支援を行った(2020年4月～2021年3月)。

### ○訪問インタビュー

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、研究者訪問はすべて取りやめオンラインでインタビューを行った。拠点外シーズAに採択されている16課題および拠点外シーズHに採択されている9課題について、研究者へのインタビューを延べ30回実施し(シーズA 20回、シーズH 10回:2020年6月～2021年3月)、進捗状況および今後の計画・要望事項等をヒアリングし、助言・提案等必要な対応を行った。

### ○企業への繋ぎ活動

うちシーズAの1課題について、大阪府と当財団が主催する「創薬・基盤技術ビジネスフォーラム」に招請し、ベンチャーキャピタル11社とのマッチング機会を提供した。

### ○相談事項対応

研究者・企業とのマッチングや知財関連業務についての相談に対し、研究者紹介や資料提供を行った。

### ○関連情報の提供

各シーズについて特許状況や競合技術、公募情報等を調査し、研究者に情報を提供した。

## (2) 技術講習会 G68

開催日	テーマ名	コーディネーター	講師	参加者
(新型コロナウイルスの為延期)	抗体スクリーニング技術(仮題)	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 創薬デザイン研究センターバイオ創薬プロジェクト(兼)先進バイオ医薬品プロジェクトプロジェクトリーダー 鎌田 春彦	未定	—

## (3) ライフサイエンス産学官連携交流事業(大阪府との連携事業)

- ① ライフサイエンス情報交流事業の開催(新型コロナウイルスの為中止)
- ② 創薬・基盤技術ビジネスフォーラムの開催

創薬・基盤技術のシーズをもつ研究者4名から研究テーマに関心のあるベンチャーキャピタルへ発表・質疑応答を行った。更に、参加ベンチャーキャピタルのコメントシートを発表

者にフィードバックした。

- ・開催日：2021年2月8日（月）14:00～16:15（Zoom）
- ・発表者：府大1名、関西医大1名、阪大2名
- ・参加者：ベンチャーキャピタル11社 主催：大阪府、千里ライフサイエンス振興財団

## 5 財団事業の企画、管理運営

○理事会及び評議員会の開催状況

<理事会>

- |                        |             |
|------------------------|-------------|
| 1. 2020年度第1回理事会（書面決議）  | 2020年 4月16日 |
| 2. 2020年度第2回理事会（書面決議）  | 2020年 6月12日 |
| 3. 2020年度第3回理事会（Web開催） | 2021年 3月 2日 |

<評議員会>

- |                        |             |
|------------------------|-------------|
| 1. 2020年度第1回評議員会（書面決議） | 2020年 5月 7日 |
| 2. 2020年度第2回評議員会（書面決議） | 2020年 6月29日 |

○企画委員会（財団人材育成事業等の企画）  
（書面開催）

2020年 8月13日

○研究助成選考委員会（Web開催）

2020年11月26日

2020年度事業報告

附属明細書

公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団

別表 1

《セミナー》

開催日	テーマ・演題	コーディネーター・講師
2020年 5月28日 (木) P1  (新型コロナウイルスの為 2021年度 に延期)	新しい医薬品概念が変える医療  —演 題— ・概論：医療技術開発の動向と将来展望  ・血液がんに対する新規 CAR T 細胞療法の開発  ・わが国におけるゲノム編集細胞創薬の展望  ・腸内細菌株を用いた新規治療法の開発  ・バクテリオファージを用いた疾患治療法の開発  ・創薬のための抗体工学技術開発  ・ヘルスケア業界の抱える課題と新たなフェーズへの挑戦  ・おわりに	大阪大学産学共創機構 特任教授 坂田 恒昭  —講 師— 国立研究開発法人 科学技術振興機構 研究開発戦略センター フェロー 辻 真博 大阪大学大学院医学系研究科 癌幹細胞制御学寄附講座 准教授 保仙 直毅 広島大学 原爆放射線医科学研究所 教授 一戸 辰夫 慶應義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室 教授 本田 賢也 自治医科大学 医学部 感染・免疫学講座 細菌学部門 講師 氣賀 恒太郎 中外製薬株式会社 バイオ医薬研究部 部長 小西 博子 塩野義製薬株式会社 デジタルインテリジェンス部 部長 小林 博幸 大阪大学産学共創機構 特任教授 坂田 恒昭
2020年 7月21日 (火) (新型コロナウイルスの為 2021年度 に延期)	『精神・神経疾患病態解明を切り開く 新しい脳機能研究』  —演 題— ・はじめに ・精神疾患におけるグリア細胞  ・計算論的精神医学：脳の計算理論に基づく精神疾患の病態解明 ・社会ストレスの適応的反応と不適応反応の脳内基盤 ・脳の発達を駆動する神経回路再編メカニズム ・精神・神経疾患の基盤としてのシナプス形成機構の解明 ・樹状突起演算と精神疾患：なぜ樹状突起スパインのサイズが重要なのか？  ・おわりに	名古屋大学大学院医学研究科分子細胞学 教授 和氣 弘明 理化学研究所 脳神経科学研究センター 多階層精神疾患研究チーム チームリーダー 林(高木) 朗子  名古屋大学大学院医学研究科分子細胞学 教授 和氣 弘明 名古屋大学大学院医学研究科分子細胞学 教授 和氣 弘明 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 室長 山下 祐一 神戸大学大学院医学研究科 薬理学分野 教授 古屋敷 智之 東京大学大学院理学系研究科 生物科学専攻 脳機能学分野 教授 榎本 和生 慶應義塾大学医学部 神経生理学 教授 柚崎 通介 理化学研究所 脳神経科学研究センター 多階層精神疾患研究チーム チームリーダー 林(高木) 朗子 理化学研究所 脳神経科学研究センター 多階層精神疾患研究チーム チームリーダー 林(高木) 朗子

<p>2020年 9月15日 (火) P3</p> <p>(新型コロナウイルスの為 2021年度 に延期)</p>	<p>「獲得免疫と自然免疫の双方から捉える新しいアレルギー学」</p> <p>—演 題—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに</li> <li>・小児アレルギー疾患の発症における獲得免疫と自然免疫の役割</li> <li>・アトピー性皮膚炎の自然・獲得免疫からの再検証</li> <li>・バリア組織の感覚神経と免疫</li> <li>・ILC2による抗原非依存のアレルギー発症機構</li> <li>・好酸球から見直すアレルギー性炎症</li> <li>・病原性Th2細胞による慢性アレルギー性気道炎症の病態形成と制御</li> <li>・おわりに</li> </ul>	<p>大阪大学医学系研究科 生体防御学 教授 茂呂 和世 京都大学大学院医学研究科 皮膚科学 教授 梶島 健治</p> <p>—講 師—</p> <p>大阪大学医学系研究科 生体防御学 教授 茂呂 和世 京都大学大学院医学研究科 皮膚科学 教授 梶島 健治 理化学研究所 生命医科学研究センター チームリーダー 岡田 峰陽 国立成育医療研究センター 免疫アレルギー・感染研究部 部長 松本 健治 秋田大学大学院医学系研究科 病態制御医学系 准教授 植木 重治 千葉大学 学長 中山 俊憲</p>
<p>2020年 11月10日 (火) P4</p> <p>Web 開催 参加者 339名</p>	<p>ゲノム編集がもたらす革新と更なる展望</p> <p>—演 題—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに</li> <li>・ゲノム編集の基本原則と基盤技術開発</li> <li>・CRISPR-Cas タンパク質の分子機構と立体構造に基づく理論的な新規ゲノム編集ツールの開発</li> <li>・CRISPR-Cas3 がもたらす新たなゲノム編集基盤技術</li> <li>・一塩基編集技術の開発と応用展開</li> <li>・CRISPR-KO スクリーニングの開発と創薬研究への応用</li> <li>・世界を先導するゲノム編集作物の社会実装</li> <li>・おわりに</li> </ul>	<p>広島大学大学院統合生命科学研究科 教授 山本 卓 京都大学ウイルス・再生医科学研究所 教授 遊佐 宏介 広島大学大学院統合生命科学研究科 教授 山本 卓 広島大学大学院統合生命科学研究科 教授 山本 卓</p> <p>東京大学大学院理学系研究科化学科 教授 濡木 理</p> <p>東京大学医科学研究所 教授 真下 知士</p> <p>神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科 教授 西田 敬二 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 教授 遊佐 宏介 筑波大学・生命環境系 教授 江面 浩</p> <p>京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 教授 遊佐 宏介</p>
<p>2021年 2月3日 (水) P5</p> <p>Web 開催 参加者 278名</p>	<p>細胞死研究の新展開</p> <p>—演 題—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに</li> </ul>	<p>大阪大学免疫学フロンティア研究センター 免疫・生化学 教授 長田 重一 東京大学大学院薬学系研究科遺伝学教室 教授 三浦 正幸</p> <p>—講 師—</p> <p>大阪大学免疫学フロンティア研究センター 免疫・生化学 教授 長田 重一</p>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カスパーゼの多彩な生理機能と制御</li> <li>・ウイルス感染におけるアポトーシスとインターフェロン産生</li> <li>・老化細胞での細胞死誘導</li> <li>・冬眠動物細胞の低温耐性</li> <li>・細胞膜の非対称性と脆弱性</li> <li>・肝障害と再生</li> <li>・タンパク質のノックダウンと細胞機能制御</li> <li>・おわりに</li> </ul>	<p>東京大学大学院薬学系研究科遺伝学教室 教授 三浦 正幸 東京大学大学院薬学系研究科分子生物学 助教 岡崎 朋彦 東京大学医科学研究所癌防御シグナル分野 教授 中西 真 北海道大学低温科学研究所生物環境部門 主任研究官 山口 良文 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 免疫・生化学 准教授 瀬川 勝盛 国際医療研究センター細胞組織再生医学 細胞療法開発研究室長 田中 稔 東京大学大学院薬学系研究科 特任教授 内藤 幹彦 東京大学大学院薬学系研究科遺伝学教室 教授 三浦 正幸</p>
--	--	--

別表 2

《小学生向け事業》

コーディネーター：大阪大学大学院理学研究科 教授 山口 浩靖

開催日	テ ー マ ・ 講 師	参加児童
2020年 8月13日 (木) (新型コロナウイルスの為 2021年度 に延期)	<p>コーディネーター：山口 浩靖 (大阪大学大学院理学研究科 教授) 大阪大学 豊中キャンパス 基礎工学国際棟 1F セミナー室</p> <p style="text-align: center;">講 師</p> <p><b>【回転運動を楽しもう】</b> 藤田 佳孝 (大阪大学核物理研究センター 核物理実験研究部門 招聘教員)</p> <p><b>【簡単リニアモーターカーを作ろう】</b> 豊田 二郎 准教授 (大阪大学総合学術博物館 准教授)</p>	—

## 別表 3

《高校生向け事業》「出前授業」

コーディネーター：大阪大学免疫学フロンティア研究センター 拠点長・教授 竹田 潔

＜学校法人大阪医科薬科大学 高槻中学校・高等学校＞

開催日	演題	講師	参加者
2020年 9月24日 (木)	私たちの命を支える植物のこと	摂南大学農学部 教授 奥本 裕	生徒 43名 教師 1名 父兄 0名 計 44名
2020年 11月20日 (金)	中学・高校では教えてくれない藻類の光合成の話 －	京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 宮下 英明	生徒 51名 教師 1名 父兄 0名 計 52名

＜学校法人金蘭千里学園 金蘭千里中学校・高等学校＞

開催日	演題	講師	参加者
2020年 12月14日 (月)	iPS細胞を使って傷んだ関節軟骨を治す－新しい治療方法の開発	京都大学 iPS細胞研究所 教授 妻木 範行	生徒 172名 教師 6名 父兄 6名 計 184名

## 財団行事の Web 開催について

### 【 概 要 】

2020年2月以降の新型コロナウイルス感染の拡大、緊急事態宣言の発出などを受け、当財団の対応策として、本年度の8月までの行事は延期または中止し、9月以降は対面での行事開催を避け、Webでの開催とした。

### 【 Web 開催の実績 】 ※参加者数：最大アクセス回数

#### 1 セミナー（ライブ配信）

	開催日	テーマ	申込者数	参加者数	京阪神以外	参加者満足度
P4	2020.11.10	ゲノム編集	478名	339名	31.0%	95.4%
P5	2021.2.3	細胞死研究	344名	278名	44.4%	95.0%

#### 2 新適塾（ライブ配信）

	開催日	演題	申込者数	参加者数	京阪神以遠の参加者率	参加者満足度
難病への挑戦	2020.9.9	病原性 Th2 細胞	180名	126名	12.8%	91.5%
	2020.11.20	NRF2 依存性がん	133名	83名	15.1%	82.4%
	2021.2.15	脊髄再生研究	265名	195名	17.7%	93.9%
脳はおもしろい	2020.9.28	モデル動物対比	126名	95名	9.5%	88.5%
	2021.1.7	哺乳類の脳	204名	138名	14.7%	84.2%
	2021.2.26	嗅覚系の神経回路形成	208名	149名	33.7%	91.6%
未来創薬への誘い	2020.10.16	腹膜播種	195名	142名	18.5%	92.5%
	2021.1.28	AAV ベクター	363名	263名	31.7%	94.7%

#### 3 フォーラム（ライブ配信/録画配信）

	開催日	演題	参加者数	参加者満足度	備考
9月	2020.9.2	新型コロナ感染と社会	50名	92%	ライブ配信
10月	2020.10.6	新型コロナワクチン開発	57名	87%	ライブ配信
11月	2020.11.4	人獣共通感染症	53名	61%	ライブ配信
12月	2020.12.2	ポリファーマシー	54名	96%	ライブ配信
1月	2021.1.16	富岳と飛沫感染シミュレーション	84名 (*289名)	—	録画配信
2月	2021.2.24	5G と with コロナ社会	63名	—	録画配信
3月	2021.3.18	大阪弁	83名	96%	録画配信

\* 飛沫感染対策の普及啓発のため3月11日(木)~5月10日(月)の2か月間一般向けに録画配信したアクセス数

#### 4 市民公開講座（ライブ配信）

	開催日	テーマ	参加者数	参加者満足度	備考
10月	2020.10.10	慢性腎臓病	121名	86%	ライブ配信
3月	2021.3.13	心臓弁膜症	72名	96%	ライブ配信